

令和7年

消 防 統 計

乙訓消防組合消防本部

令和7年消防統計目次

消防統計の概要	1～4
1 火災統計		
(1) 火災概要	5
(2) 市町別概要	6
(3) 出火原因別の火災件数と損害額	7
(4) 月別出火状況	8
(5) 火災種別損害額	8
(6) 覚知方法別出火件数	8
(7) 時間帯別出火件数	9
(8) 曜日別出火件数	9
2 その他災害統計		
(1) その他災害種別の件数	10
(2) 市町別その他災害種別の件数	10
(3) 覚知方法別件数	11
(4) 時間帯別件数	11
(5) 曜日別件数	12
3 救助統計		
(1) 事故種別出場件数及び活動件数	13
(2) 市町別出場件数	14
(3) 事故種別救出人員	15
(4) 発生場所別出場件数及び活動件数	16
4 救急統計		
(1) 事故種別出場件数及び搬送人員	17
(2) 年齢区分別事故種別搬送人員	18
(3) 事故種別傷病程度別搬送人員	18
(4) 年齢区分別傷病程度別搬送人員	19
(5) 傷病程度別搬送人員	19
(6) 市町別出場件数	20
(7) 消防署別出場件数	21
(8) 救急隊員が行った応急処置状況	22

消防統計の概要

1 火災統計

(1) 出火状況

ア 令和7年の出火件数は39件で、前年の35件に比べ4件増加となっている。火災による死者は、2人となっており、前年と比べ2人の増加となっている。

火災種別では、「建物火災」が30件で前年に比べ10件の増加、「林野火災」は0件で前年と比べ増減なし、「車両火災」は3件で前年と比べ2件減少し、「その他火災」は6件で前年と比べ4件減少となっている。

[1(1)火災概要]

イ 市町別発生件数では、出火件数39件中、「向日市」が15件で38.5%、「長岡京市」が19件で48.7%、「大山崎町」が5件で12.8%となっている。

[1(2)市町別概要]

ウ 月別出火状況は、「7月」が9件で23.1%と最も多く、次いで「3月」が7件で17.9%、「11月」が5件で12.8%、「1月」、「2月」、「10月」、「12月」が各3件で7.7%、「5月」、「8月」が2件で5.1%、「4月」、「9月」が1件で2.6%、「6月」が0件の順となっている。

また、月別の損害額については、「3月」の31,304千円が最も多くなっている。

[1(4)月別出火状況]

エ 時間帯別出火件数は、「8時～10時」と「16時～18時」が各6件で最も多く、次いで「10時～12時」、「12時～14時」、「18時～20時」が各5件、「14時～16時」と「20時～22時」が各4件、「0時～2時」、「2時～4時」、「22時～24時」、「不明」が各1件となっている。

[1(7)時間帯別出火件数]

オ 曜日別出火件数は、「土曜日」が10件と最も多く、次いで「木曜日」が9件、「金曜日」が5件、「月曜日」、「火曜日」、「日曜日」が各4件、「水曜日」が3件となっている。

[1(8)曜日別出火件数]

(2) 出火原因

出火件数39件中、「たばこ」が6件と最も多く、次いで「不明」が5件、「ライター」が3件、「ガステーブル」、「配線器具」、「プラグ」、「蓄電池」が各2件となっている。

[1(3)出火原因別の火災件数と損害額]

(3) 損害額

ア 損害額は、57,288千円となっており、前年に比べ10,709千円増加している。内訳としては、「建物火災」による損害額が8,001千円の増加、「車両火災」による損害額が2,875千円増加、「その他火災」による損害額が167千円の減少となっている。

[1(1)火災概要]

イ 火災種別損害額は、「建物火災」が 53,821 千円で 93.9%となっており、次いで「車両火災」が 3,438 千円で 6%「その他火災」が 29 千円で 0.1%となっている。

[1 (5)火災種別損害額]

(4) 覚知方法別出火件数

覚知方法別件数は 39 件中、「火災報知専用電話」(119 番)が 21 件で 53.8%、次いで「事後聞知」(消防が鎮火後に覚知したもの。爆発の場合は、消防機関が実際に出火又は再爆発の危険がなくなったと推定又は認定した時分が、覚知時分以前のもの)が 16 件で 41%、「駆けつけ通報」が 2 件で 5.1%となっている。

[1 (6)覚知方法別出火件数]

2 その他災害統計

(1) その他災害種別の件数

その他災害の発生件数は 26 件で、前年と比べ 6 件増加している。災害種別の発生件数は、「交通」が 13 件で 50%、次いで「危険物」が 10 件で 38.4%、「ガス・酸欠」が 2 件で 7.6%、「自然災害」が 1 件で 3.8%となっている。

[2 (1)その他災害種別の件数]

(2) 市町別その他災害種別の件数

市町別の発生件数は、「向日市」が 8 件、「長岡京市」が 13 件、「大山崎町」が 2 件となっている。

[2 (2)市町別その他災害種別の件数]

(3) 覚知方法別の発生件数は、「火災報知専用電話 (119 番)」が 9 件で 34.6%、「自己覚知」が 6 件で 23.1%、「加入電話 (固定電話から)」と「その他」が各 4 件で 15.4%、「加入電話 (携帯電話から)」が 2 件で 7.7%、「駆けつけ通報」が 1 件で 3.8%となっている。

[2 (3)覚知方法別件数]

(4) 時間帯別件数

時間帯別の発生件数は、「8 時～10 時」が 5 件で、次いで「10 時～12 時」、「18 時～20 時」、「20 時～22 時」、「22 時～24 時」が各 3 件、「4 時～6 時」、「12 時～14 時」、「14 時～16 時」、「16 時～18 時」が各 2 件、「6 時～8 時」が 1 件となっている。

[2 (4)時間帯別件数]

(5) 曜日別件数

曜日別の発生件数は、「月曜日」、「金曜日」が各 6 件と最も多く、次いで「火曜日」、「水曜日」、「土曜日」、「日曜日」が各 3 件、「木曜日」が各 2 件となっている。

[2 (5)曜日別件数]

3 救助統計

(1) 事故種別出場件数及び活動件数

救助活動の状況は、出場件数が 73 件、活動件数は 57 件で前年に比べると出場件数、活動件数ともに前年の 5 件の減少となっている。

[3(1)事故種別出場件数及び活動件数]

(2) 市町別出場件数

出場件数を市町別で見ると、「向日市」が 25 件、「長岡京市」が 39 件、「大山崎町」が 7 件、「その他」が 2 件となっている。

[3(2)市町別出場件数]

(3) 事故種別救出人員

救出人員は 54 人で、前年に比べると 8 人減少している。

事故種別の内訳は、「建物等による事故」が 34 人、「交通事故」が 10 人、「その他の事故」が 8 人、「火災建物」と「ガス及び酸欠事故」が各 1 件となっている。

[3(3)事故種別救出人員]

(4) 発生場所別出場件数及び活動件数

発生場所別出場件数の内訳は、「住居」が 42 件（うち活動あり 40 件）、次いで「その他の道路」が 17 件（うち活動あり 8 件）、「その他の屋外」が 5 件（うち活動あり 4 件）、内陸における「水面」が 3 件（うち活動あり 2 件）、「その他」が 2 件（うち活動あり 1 件）、「山岳」が 2 件（うち活動あり 2 件）、「高速道路国道」が 2 件となっている。

[3(4)発生場所別出場件数及び活動件数]

4 救急統計

(1) 出場件数及び搬送人員

出場件数は 8,069 件で前年に比べ 159 件の増加、搬送人員については 7,460 人で前年に比べ 204 人の増加であり、1 日あたりの出場件数は 22.1 件、搬送人員は 20.4 人となっている。

[4(1)事故種別出場件数及び搬送人員]

(2) 事故種別

事故種別出場件数は、「急病」が 5,359 件で全体の 66.4%、「一般負傷」が 1,438 件で 17.8%、「交通事故」が 500 件で 6.2%となっており、これらが全体の約 9 割を占めている。

[4(1)事故種別出場件数及び搬送人員]

(3) 年齢区分

ア 年齢区分別事故種別の搬送人員は、「急病」では搬送人員 5,010 人中 3,296 人が「高齢者」で 65.8%、次いで「成人」が 1,237 人で 24.7%、「乳幼児」が 323 人で 6.4%、「少年」が 150 人で 3%となり、全体の半数以上を「高齢者」が占めている。

[4(2)年齢区分別事故種別搬送人員]

イ 「交通事故」では、搬送人員 474 人中 281 人が「成人」で 59.3%、次いで「高齢者」が 142 人で 30%、「少年」が 38 人で 8%、「乳幼児」が 13 人で 2.7%となっている。

[4(2)年齢区分別事故種別搬送人員]

ウ 「一般負傷」では、搬送人員 1,327 人中 1,054 人が「高齢者」で 79.4%、次いで「成人」が 146 人で 11%、「乳幼児」が 100 人で 7.5%、「少年」が 26 人で 2%となっている。

[4(2)年齢区分別事故種別搬送人員]

(4) 事故種別傷病程度別搬送人員

傷病程度別搬送人員では、搬送人員 7,460 人中 3,766 人が「軽症」で 50.5%、次いで「中等症」が 3,073 人で 41.2%、「重症」が 536 人で 7.2%、「死亡」が 84 人で 1.1%となっている。

[4(3)事故種別傷病程度別搬送人員]

(5) 市町別出場件数

市町別出場件数では、「向日市」が 2,900 件で 35.9%、「長岡京市」が 4,384 件で 54.3%、「大山崎町」が 748 件で 9.3%、「乙訓管外」が 37 件で 0.5%となっている。

[4(6)市町別出場件数]

(6) 消防署別出場件数

消防署別出場件数では、「向日消防署」が 2,626 件で 32.5%、「長岡京消防署」が 2,660 件で 33%、「長岡京消防署東分署」が 1,417 件で 17.6%、「大山崎消防署」が 1,366 件で 16.9%となっている。

[4(7)消防署別出場件数]

※ 本文中のパーセント(%)表示の数値については、小数点第2位を四捨五入しているため、実際の数値とは合致しない場合があります。

1 火災統計

(1) 火災概要

区 分	単位	令和7年	令和6年	増減 (△印減)
出火件数	建 物	30	20	10
	林 野			
	車 両	3	5 (2)	△ 2 △ (2)
	そ の 他	6	10	△ 4
	計	件	39 (0)	35 (2)
焼損棟数	全 焼	4	4	
	半 焼	2	2	
	部 分 焼	5	7	△ 2
	ぼ や	22	20	2
	計	棟	33 (0)	33
焼 損 床 面 積	m ²	422	347	75
焼 損 表 面 積	m ²	79	93	△ 14
林 野 焼 損 面 積	a			
死 者	人	2		2
負 傷 者	人	5	6	△ 1
り 災 世 帯 数	全 損	6	3	3
	半 損		1	△ 1
	小 損	21	19	2
	計	世帯	27 (0)	23
り 災 人 員	人	53	45	8
損 害 額	建 物	53,821	45,820	8,001
	林 野			
	車 両	3,438	563 (539)	2,875 △ (539)
	そ の 他	29	196	△ 167
	計	千円	57,288 (0)	46,579 (539)
出火率	件 / $\frac{\text{人口}}{1\text{万人}}$	2.3 (0.0)	2.2 (0.1)	0.1 △ (0.1)

※ 「死者」には火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者を含む。

※ 出火率とは、人口1万人当たりの出火件数をいう。

※ ()内は高速道路の火災を表す。

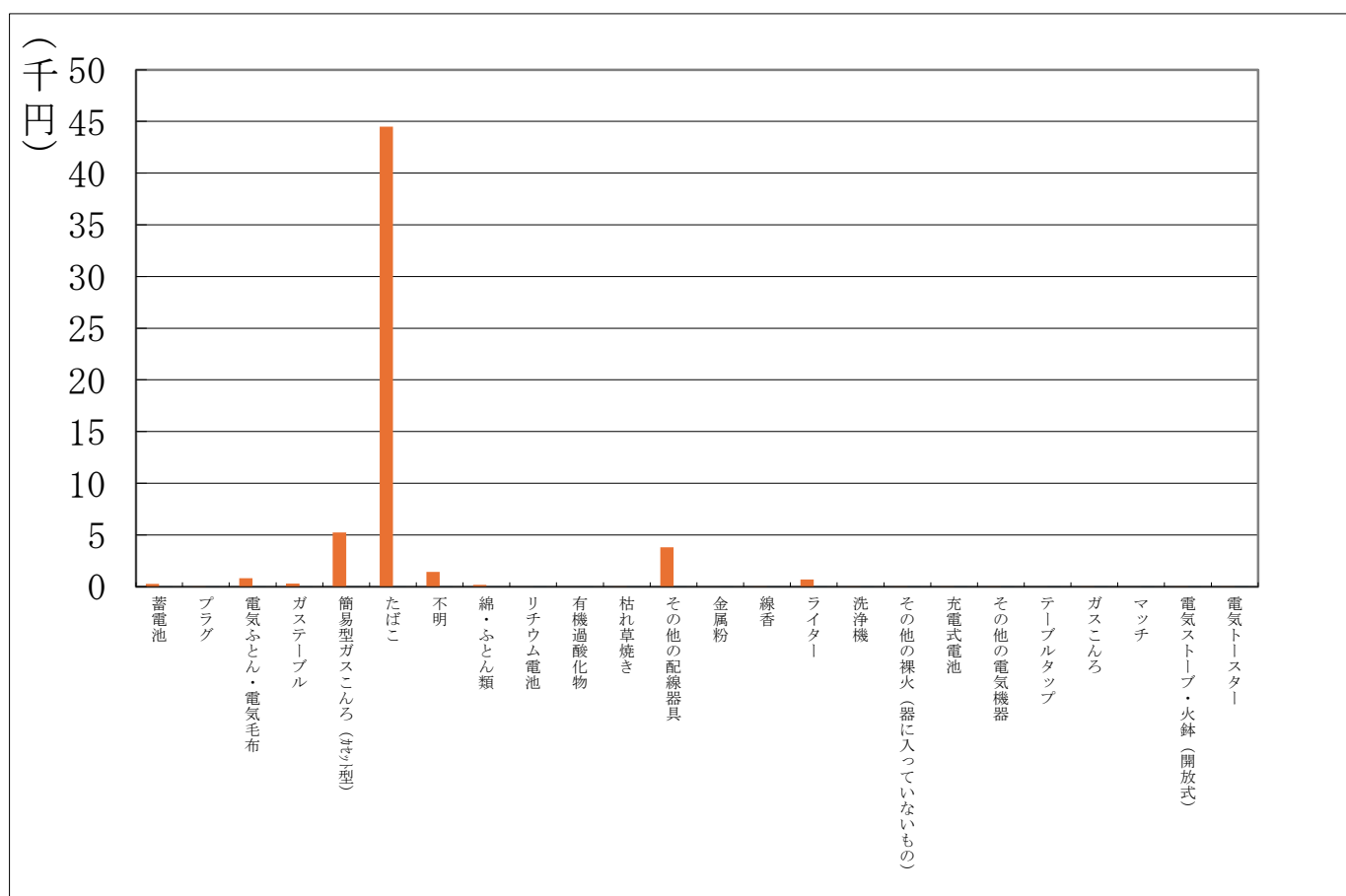
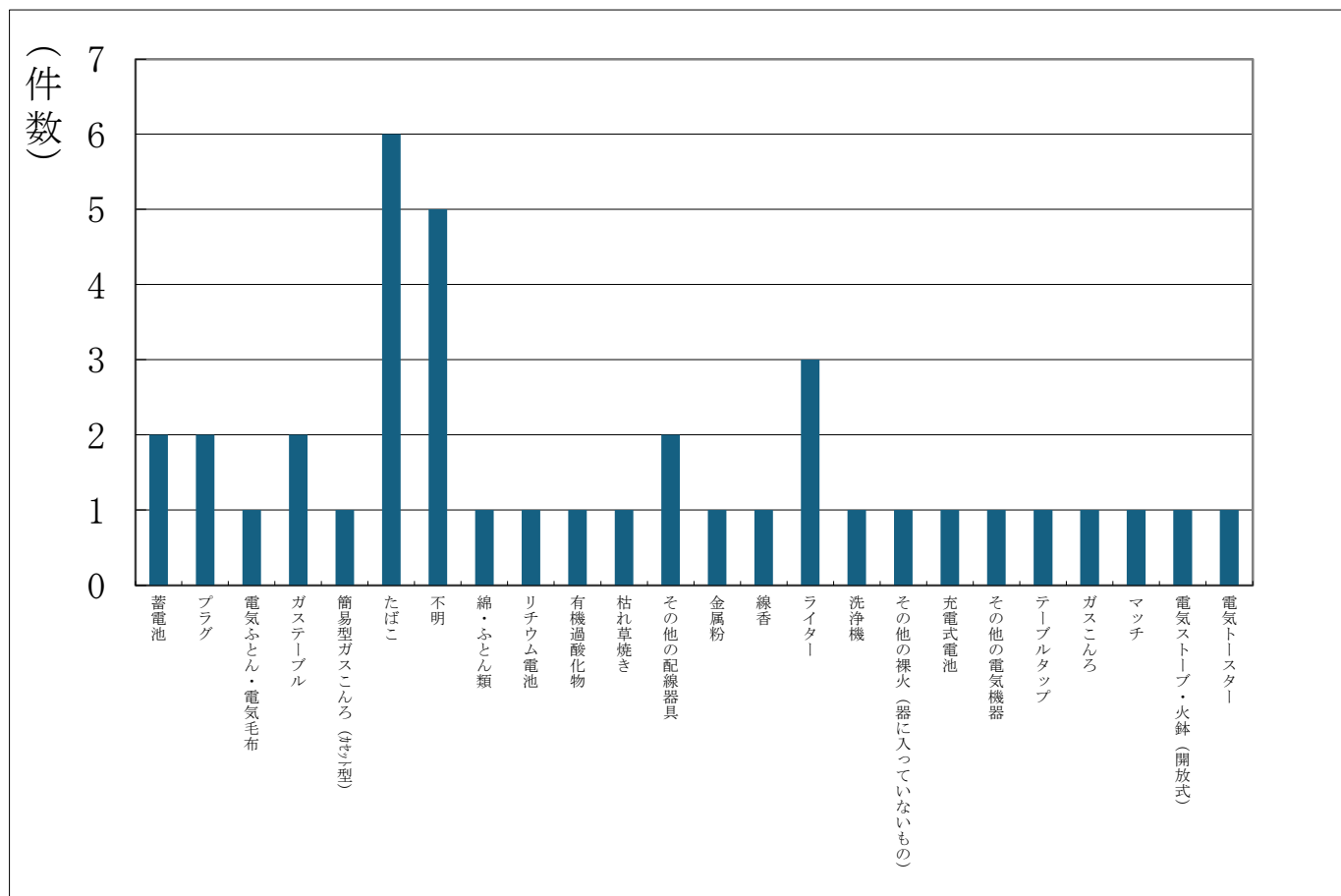
※ 高速道路は、名神高速道路上下線、京都縦貫道上下線及び京滋バイパスの一部とする。

(2) 市町別概要

区	分	単位	向日市	長岡京市	大山崎町
出火件数	建物		13	13	4
	林野				
	車両		1	2	
	その他		1	4	1
	計	件	15 (0)	19 (0)	5 (0)
焼損棟数	全焼		4		
	半焼		1	1	
	部分焼		2	3	
	ぼや		8	10	4
	計	棟	15 (0)	14 (0)	4 (0)
焼損床面積		m ²	367	55	
焼損表面積		m ²	69	9	1
林野焼損面積		a			
死者		人	2		
負傷者		人	5		
り災世帯数	全損		6		
	半損				
	小損		10	8	3
	計	世帯	16 (0)	8 (0)	3 (0)
り災人員		人	28	17	8
損害額	建物		52,063	1735	23
	林野				
	車両		38	3400	
	その他			29	
	計	千円	52,101 (0.0)	5164 (0.0)	23 (0.0)

※ 「死者」には火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者を含む。

(3) 出火原因別の火災件数と損害額



(4) 月別出火状況

季 別	年	令和7年			
		出火件数 (件)	割 合 (%)	損害額(千円)	割 合 (%)
1月		3	7.7	1,042	1.8
2月		3	7.7	5,560	9.7
3月		7	17.9	31,304	54.6
4月		1	2.6		
5月		2	5.1		
6月					
7月		9	23.1	18,180	31.7
8月		2	5.1	4	0
9月		1	2.6	19	0
10月		3	7.7	706	1.2
11月		5	12.8	18	0
12月		3	7.7	466	0.8
不明					
合 計		39	100	57,299	100

(注) 冬季の1, 2月は、該当年のものとする

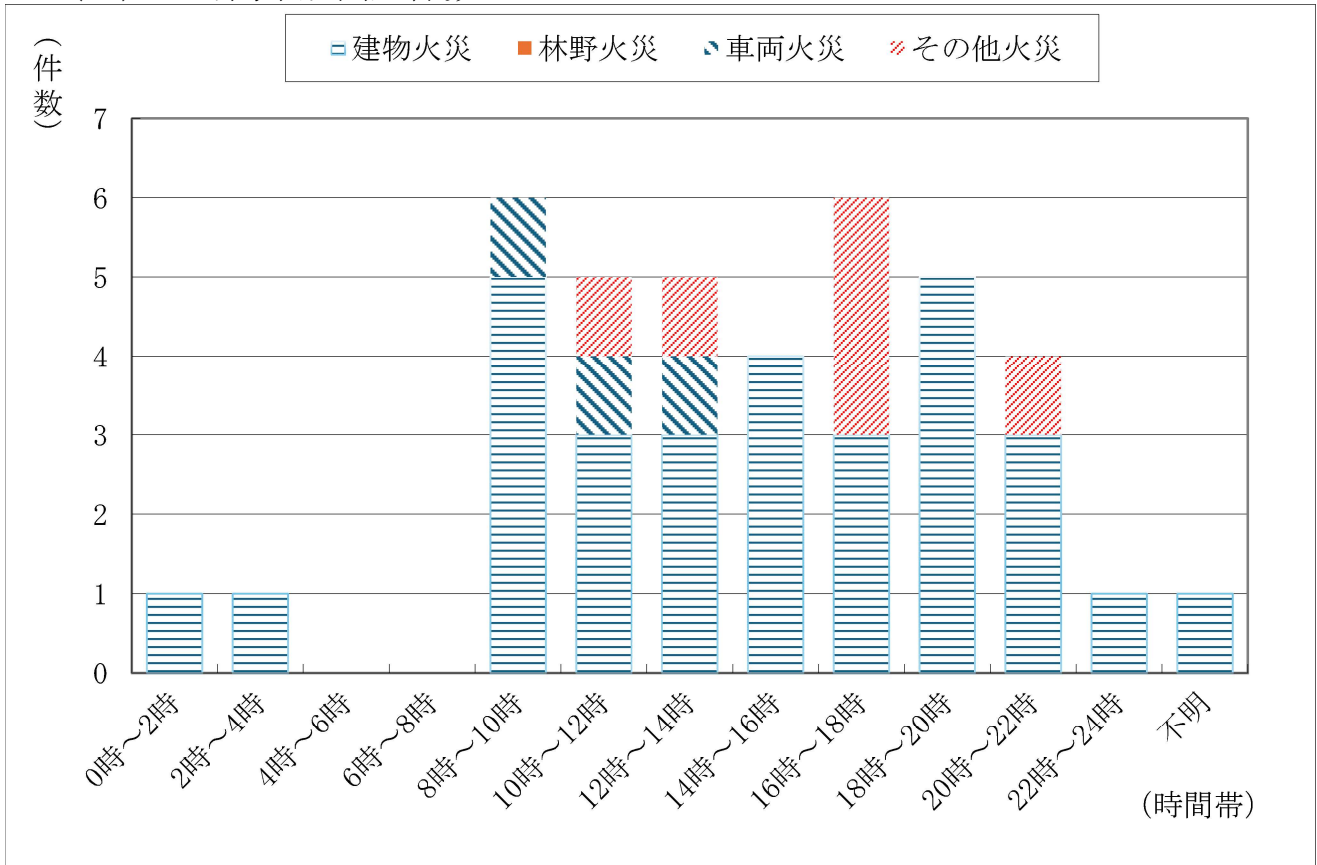
(5) 火災種別損害額

区分	火 災 種 別	出火件数 (件)	構成比 (%)	損害額 (千円)	割 合 (%)
建 物 火 災		30	77	53,832	93.9
林 野 火 災					
車 両 火 災		3	8	3,438	6.0
そ の 他 火 災		6	15	29	0.1
合 計		39	100	57,299	100

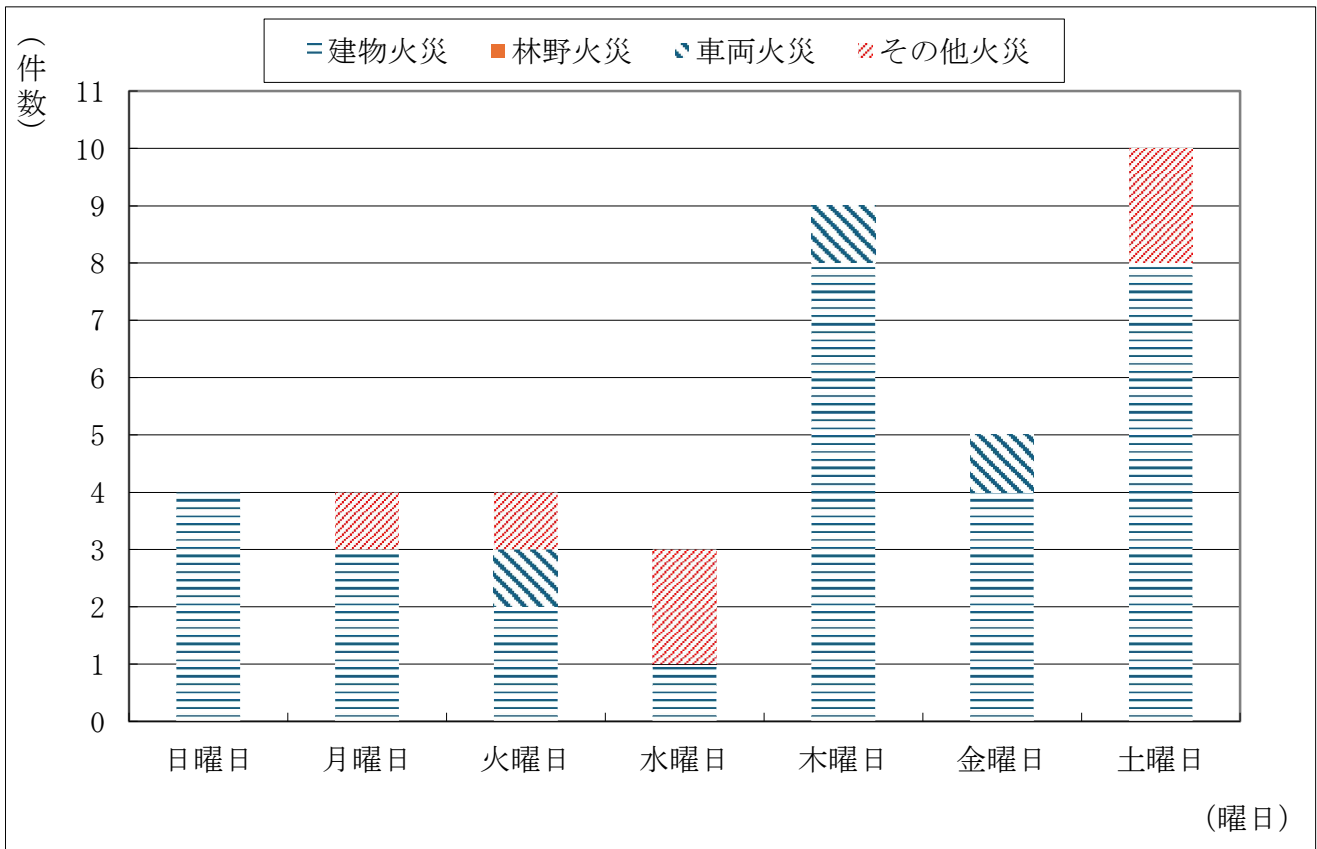
(6) 覚知方法別出火件数

区分	覚 知 方 法 別	出火件数 (件)	構成比 (%)
火 災 報 知 専 用 電 話 固定電話から (N T T 加入電話を除く)		3	7.7%
火 災 報 知 専 用 電 話 固定電話から (N T T 加入電話)		2	5.1%
火 災 報 知 専 用 電 話 携 帯 電 話 か ら		16	41.0%
加入電話 (固定電話から)			
加入電話 (携帯電話から)			
警 察 電 話			
駆 け つ け 通 報		2	5.1%
事 後 聞 知		16	41.0%
そ の 他			
合 計		39	100%

(7) 時間帯別出火件数



(8) 曜日別出火件数



2 その他災害統計

(1) その他災害種別の件数

種 類	令和7年	令和6年	増減 (△印減)
交 通 災 害	13	12	1
水 難 災 害			
自 然 災 害	1		1
機 械 災 害			
危 険 物 災 害	10	7	3
建 物 等 災 害			
ガス及び酸欠災害	2		2
爆 発 災 害			
そ の 他 災 害		1	△ 1
計	26	20	6

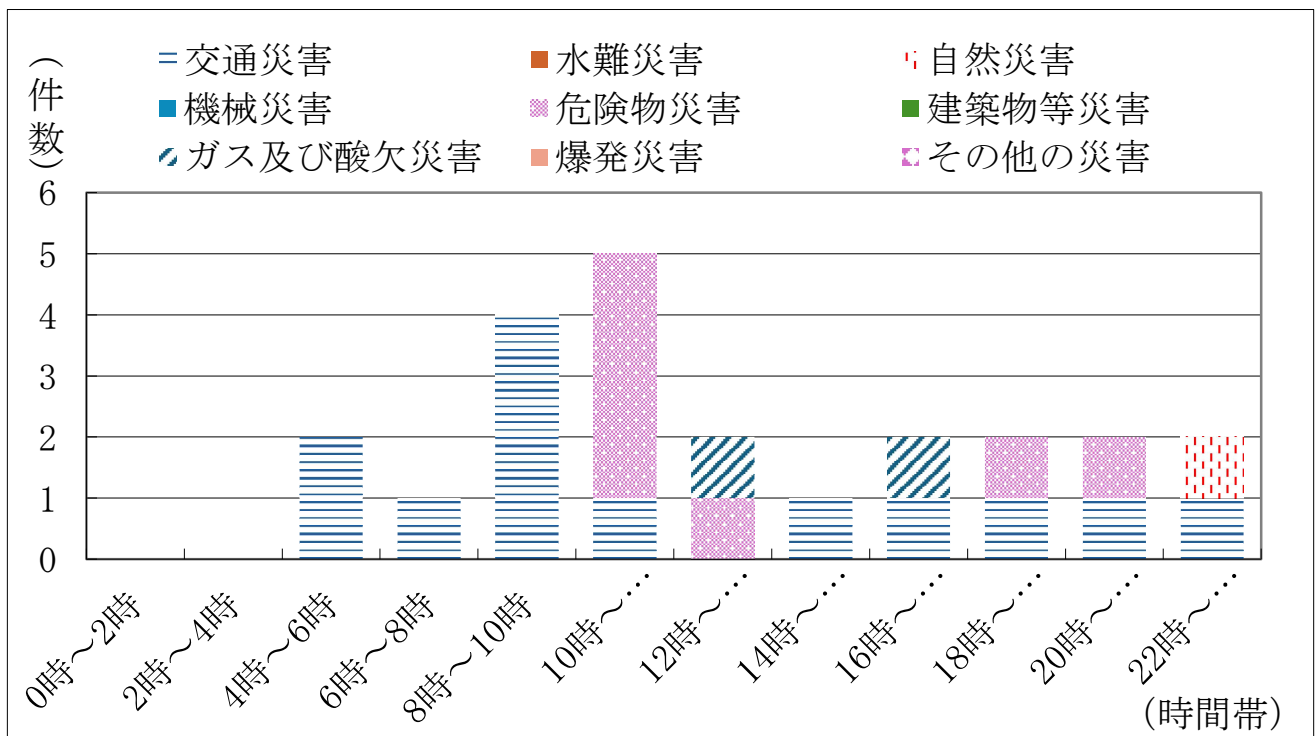
(2) 市町別その他災害種別の件数

種 類	向日市	長岡京市	大山崎町
交 通 災 害	2	8	3
水 難 災 害			
自 然 災 害		1	
機 械 災 害			
危 険 物 災 害	4	6	
建 物 等 災 害			
ガス及び酸欠災害	2		
爆 発 災 害			
そ の 他 災 害			
計	8	15	3

(3) 覚知方法別件数

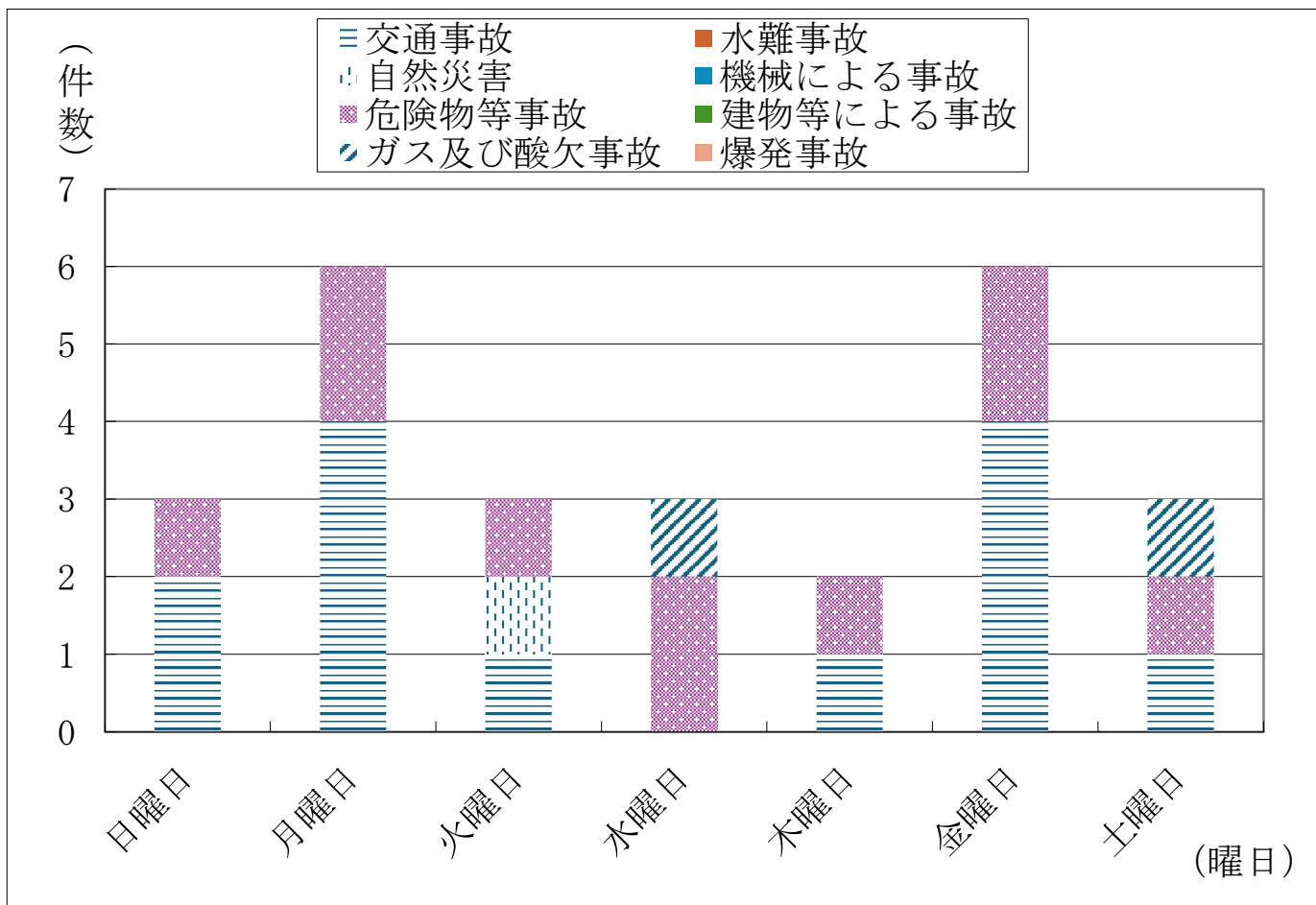
覚知方法別	区分	発生件数 (件)	構成比 (%)
火災報知専用電話 固定電話から (NTT加入電話を除く)		2	7.7%
火災報知専用電話 固定電話から (NTT加入電話)		2	7.7%
火災報知専用電話 携帯電話から		5	19.2%
加入電話 (固定電話から)		4	15.4%
加入電話 (携帯電話から)		2	7.7%
警察電話			
駆けつけ通報		1	3.8%
事後聞知			
自己覚知		6	23.1%
その他		4	15.4%
合計		26	100%

(4) 時間帯別件数



※発生時間不明は除く

(5) 曜日別件数



3 救助統計

(1) 事故種別出場件数及び活動件数

事故種別		令和7年		令和6年		増減 (△印減)	
		出場件数	活動件数	出場件数	活動件数	出場件数	活動件数
火災	建物	5	5	2	2	3	3
	建物以外						
交通事故		20 (2)	8	18 (4)	7	2 △(2)	1
水難事故		1	1			1	1
風水害等自然災害							
機械による事故				3	1	△ 3	△ 1
建物等による事故		35	34	45	45	△ 10	△ 11
ガス及び酸欠事故		1	1	1	1		
爆発事故							
その他の事故		11	8	9	6	2	2
計		73 (2)	57 (0)	78 (4)	62 (0)	△ 5 (△ 2)	△ 5 (0)

※ () 内は、高速道路救助出場件数を表す。

(2) 市町別出場件数

事故種別		市町別				計
		向日市	長岡京市	大山崎町	その他の市町	
火災	建物	4	1			5
	建物以外					
交通事故		3	12	3	2 (2)	20 (2)
水難事故				1		1
風水害等自然災害						
機械による事故						
建物等による事故		14	19	2		35
ガス及び酸欠事故		1				1
爆発事故						
その他の事故		3	7	1		11
計		25 (0)	39 (0)	7 (0)	2 (2)	73 (2)

※ () は、高速道路救助出場件数を表す。

(3) 事故種別救出人員

事故種別		年別		
		救 出 人 員		
		令和7年	令和6年	増 減 (△ 印 減)
火 災	建 物	1		1
	建 物 以 外			
交 通 事 故		10	7	3
水 難 事 故				
風 水 害 等 自 然 災 害				
機 械 に よ る 事 故			3	△ 3
建 物 等 に よ る 事 故		34	44	△ 10
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故		1	1	
爆 発 事 故				
そ の 他 の 事 故		8	7	1
計		54 (0)	62 (0)	△ 8

※ () は、高速道路救助出場における救出人員を表す。

(4) 発生場所別出場件数及び活動件数

発生場所		令和7年		令和6年		増減 (△印減)		
		出場件数	活動件数	出場件数	活動件数	出場件数	活動件数	
屋内	住居	42	40	46	45	△ 4	△ 5	
	その他の屋内			2	1	△ 2	△ 1	
屋外	道路	高速道路国道	2		4		△ 2	
		その他の道路	17	8	7	4	10	4
	水面	内水面	3	2			3	2
		外水面						
	山岳	2	2	2	1		1	
	その他の屋外	5	4	16	11	△ 11	△ 7	
地下								
その他	2	1	1		1	1		
計		73	57	78	62	△ 5	△ 5	

※ 内水面－河川・湖沼・池・プール等内陸における水上又は水中（ただし、河川敷やプールのシャワー室等は含まない。）

※ 外水面－上記以外の水上又は水中

4 救急統計

(1) 事故種別出場件数及び搬送人員

年別等	令和7年		令和6年		増減(△印減)	
事故種別	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員
火災	8 (0)	4 (0)	6 (0)	4 (0)	2 (0)	0 (0)
自然災害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
水難	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
交通事故	500 (10)	474 (10)	486 (12)	449 (10)	14 (△2)	25 (0)
労働災害	66 (0)	68 (0)	54 (0)	54 (0)	12 (0)	14 (0)
運動競技	77 (0)	77 (0)	85 (0)	85 (0)	△8 (0)	△8 (0)
一般負傷	1,438 (0)	1,327 (0)	1,454 (0)	1,331 (0)	△16 (0)	△4 (0)
加害	22 (0)	18 (0)	20 (0)	16 (0)	2 (0)	2 (0)
自損行為	46 (0)	32 (0)	62 (0)	46 (0)	△16 (0)	△14 (0)
急病	5,359 (7)	5,010 (6)	5,236 (2)	4,874 (1)	123 (5)	136 (5)
その他	553 (1)	450 (0)	507 (2)	397 (0)	46 (△1)	53 (0)
計	8,069 (18)	7,460 (16)	7,910 (16)	7,256 (11)	159 (2)	204 (5)
一日平均件数	22.1	20.4	21.6	19.8	0.5	0.6

注：()内は、「うち高速道路救急出場件数及び搬送人員」を表す。

(2) 年齢区分別事故種別搬送人員

事故種別 年齢区分	事故種別				計
	急病	交通事故	一般負傷	その他	
新生児	4	0	1	2	7
乳幼児	323	13	100	8	444
少年	150	38	26	59	273
成人	1,237	281	146	244	1,908
高齢者	3,296	142	1,054	336	4,828
計	5,010	474	1,327	649	7,460

※ 新生児：生後28日未満
 乳幼児：生後28日以上満7歳未満
 少年：満7歳以上満18歳未満
 成人：満18歳以上満65歳未満
 高齢者：満65歳以上

(3) 事故種別傷病程度別搬送人員

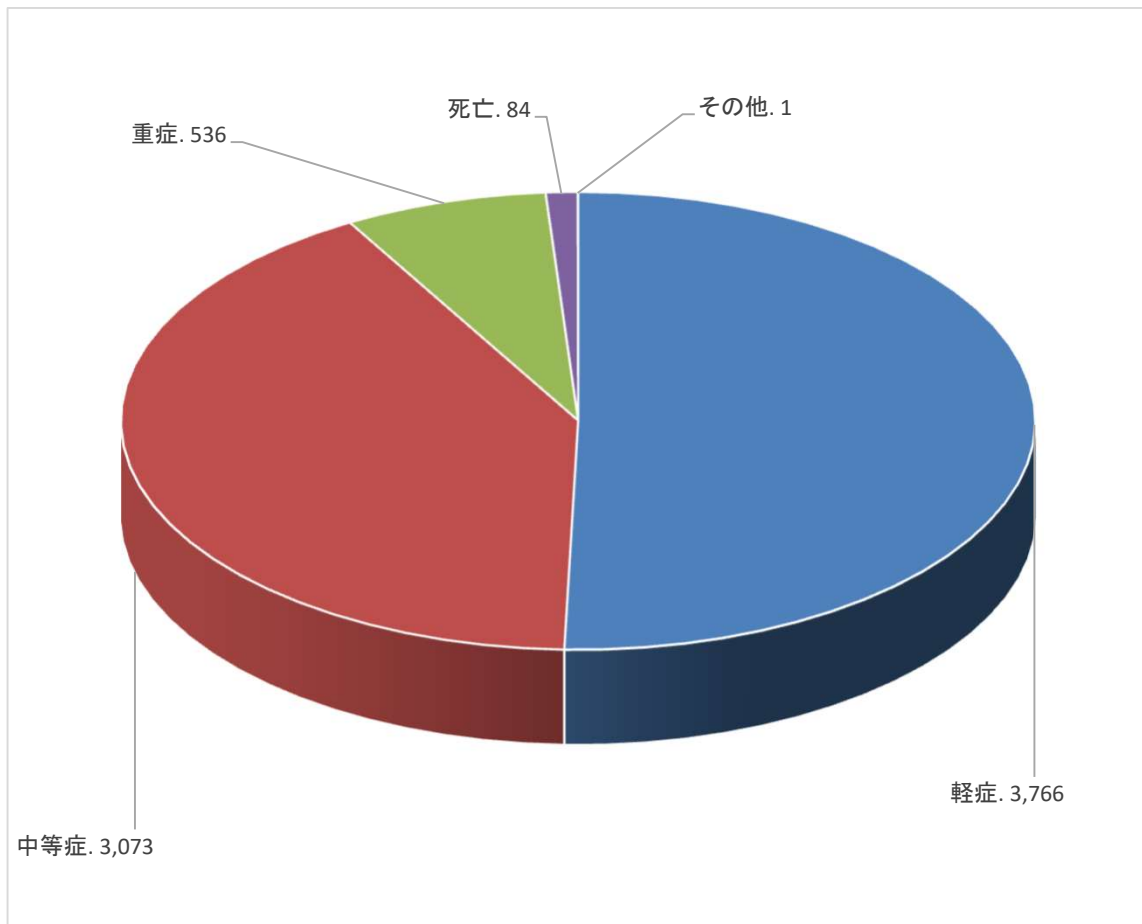
事故種別	傷病程度					計
	死亡	重症	中等症	軽症	その他	
急病	77	364	2,179	2,389	1	5,010
交通事故	1	21	74	378	0	474
一般負傷	2	92	424	809	0	1,327
その他	4	59	396	190	0	649
計	84	536	3,073	3,766	1	7,460

※ 死亡：初診時において、死亡が確認されたもの
 重症：傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
 中等症：傷病の程度が入院を必要とするもので、重症に至らないもの
 軽症：傷病の程度が入院を必要としないもの
 その他：医師の診断がないもの及び「その他の場所（接骨院等）」へ搬送したもの

(4) 年齢区分別傷病程度別搬送人員

傷病程度 \ 年齢区分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	計
死亡	0	0	0	11	73	84
重症	0	1	3	93	439	536
中等症	5	89	57	506	2,416	3,073
軽症	2	354	213	1,298	1,899	3,766
その他	0	0	0	0	1	1
計	7	444	273	1,908	4,828	7,460

(5) 傷病程度別搬送人員



(6) 市町別出場件数

地域名		事故種別				
		急病	交通事故	一般負傷	その他	計
向日市	7年	1,970 (0)	200 (0)	527 (0)	203 (0)	2,900 (0)
	6年	1,965 (0)	194 (0)	537 (0)	217 (0)	2,913 (0)
増減 (△印減)		5 (0)	6 (0)	△ 10 (0)	△ 14 (0)	△ 13 (0)
長岡京市	7年	2,872 (0)	224 (1)	769 (0)	519 (1)	4,384 (2)
	6年	2,721 (1)	229 (2)	779 (0)	467 (1)	4,196 (4)
増減 (△印減)		151 (△ 1)	△ 5 (△ 1)	△ 10 (0)	52 (0)	188 (△ 2)
大山崎町	7年	506 (2)	58 (5)	136 (0)	48 (0)	748 (7)
	6年	538 (0)	40 (5)	135 (0)	44 (1)	757 (6)
増減 (△印減)		△ 32 (2)	18 (0)	1 (0)	4 (△ 1)	△ 9 (1)
京都市	7年	6 (1)	12 (0)	6 (0)	2 (0)	26 (1)
	6年	11 (0)	19 (1)	3 (0)	5 (0)	38 (1)
増減 (△印減)		△ 5 (1)	△ 7 (△ 1)	3 (0)	△ 3 (0)	△ 12 (0)
島本町	7年	4 (3)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (3)
	6年	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
増減 (△印減)		4 (3)	2 (0)	0 (0)	△ 1 (0)	5 (3)
その他	7年	1 (1)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	5 (5)
	6年	1 (1)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	5 (5)
増減 (△印減)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	7年	5,359 (7)	500 (10)	1,438 (0)	772 (1)	8,069 (18)
	6年	5,236 (2)	486 (12)	1,454 (0)	734 (2)	7,910 (16)
増減 (△印減)		123 (5)	14 (△ 2)	△ 16 (0)	38 (△ 1)	159 (2)

注：()内は、「うち高速道路救急出場件数」を表す。

(7) 消防署別出場件数

消防署名		事故種別					計
		急	病	交通事故	一般負傷	その他	
向日消防署	7年	1,775		161	469	221	2,626
	6年	1,758		162	486	207	2,613
増減（△印減）		17		△1	△17	14	13
長岡京消防署	7年	1,788		123	478	271	2,660
	6年	1,609		141	490	282	2,522
増減（△印減）		179		△18	△12	△11	138
東分署	7年	922		129	255	111	1,417
	6年	911		104	261	93	1,369
増減（△印減）		11		25	△6	18	48
大山崎消防署	7年	874		87	236	169	1,366
	6年	958		79	217	152	1,406
増減（△印減）		△84		8	19	17	△40
合計	7年	5,359		500	1,438	772	8,069
	6年	5,236		486	1,454	734	7,910
増減（△印減）		123		14	△16	38	159

(8) 救急隊員が行った応急処置状況

処置事項	事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	計
	応急処置対象人員	5,010	474	1,327	649	7,460
止血		24	26	76	14	140
固定		5	100	58	23	186
人工呼吸		26	1	0	3	30
心マッサージ		0	0	0	0	0
心肺蘇生		132	3	6	5	146
酸素吸入		903	40	62	151	1,156
気道確保		188	5	13	7	213
	経鼻エアウェイ	3	0	1	0	4
	喉頭鏡、鉗子等	0	1	0	0	1
	ラリングアルマスク等	26	0	1	0	27
	気管挿管	9	1	2	0	12
保温		158	10	21	38	227
被覆		15	99	254	29	397
在宅医療		146	0	20	8	174
除細動		8	0	1	0	9
静脈路確保		44	1	3	3	51
薬剤投与		30	0	3	1	34
ブドウ糖投与		5	0	0	0	5
その他の応急処置		4,960	469	1,316	639	7,384
血圧測定		4,768	467	1,268	633	7,136
聴診器による聴取		2,296	168	345	161	2,970
血中酸素飽和度測定		4,883	472	1,318	642	7,315
心電図測定		1,769	37	108	124	2,038
計		20,360	1,898	4,872	2,481	29,611

注：一人につき複数の応急処置を行う事もあるため、応急処置対象人員と事故種別ごとの処置項目の係数とは一致しない。